

第 6 回緑の基本計画検討部会 摘録

1 開催日時

令和 7 年 7 月 22 日（火）午前 9 時 30 分～午前 11 時 20 分

2 開催場所

京都市役所分庁舎 4 階 第 5 会議室

3 出席者（五十音順、敬称略）

委員

7 名出席（欠席なし）

委員 天野 晴美

委員 井原 縁

委員 谷 萌子

委員 橋本 佳織

委員 深町 加津枝（部会長）

委員 町田 誠

委員 山田 豊久

事務局

建設局みどり政策推進室

室長 永田 盛士

事業促進担当部長 藤澤 宏太

みどり企画課長 山本 真史

担当係長 兼村 星志

4 次第

(1) 開会

(2) 審議

素案の審議

(3) 閉会

5 会議録 <委：委員、事：事務局>

議題：計画全体について

委：

魅力発信パートは本計画の肝になる部分であり、洗練されたものにしてほしい。行政計画は策定後にあまり読まれないことも少なくないが、これから先の行政は、市民の共感を呼ぶ訴求力の高い計画を目指すべきだからである。さらに、京都市として限られた財源の中で取組を進めていかなければならないことを考えると、市役所の内部でも共感を得られるよう意識すると良い。

これを踏まえると、「魅力発信パート」、「計画パート」という現在のパートのタイトルは、工夫の余地があるのではないか。「皆さんに伝えたい京都のみどりの魅力」や「私たちが目指す未来」のように、市民に語りかけるような、より平易なタイトルが望ましい。

委：

先の指摘は、計画が「作って終わり」ではないという、この計画のあり方の根幹をなす重要な視点である。「魅力発信パート」、「計画パート」の位置付けについて事務局から改めて説明してほしい。

事：

前半の「魅力発信パート」では、市民が京都のみどりの魅力を再認識し、身近に感じてもらうことを目的としている。後半の「計画パート」では、その実現に向けた具体的な方針や方向性を示している。

委：

「魅力発信パート」は、シンプルに「京都のみどりの魅力」としてはどうか。

委：

市民の視点として、「計画パート」は難しそうで、「魅力発信パート」の方がじっくり読みたいと感じる。その点、「京都のみどりの魅力」というタイトル案は分かりやすく良い。

2章の「みどりの魅力」と重複してしまうため、2章のタイトルを「京都のみどりの紹介」「みどりの代表例」など、別の表現にしても良いのではないか。

委：

「魅力発信パート」より、「京都のみどりの魅力」の方が分かりやすいと感じる。

委：

「計画パート」という言葉からは、市が取り組むべきことで、自分たち市民がすることではないという印象を受ける。例えば、街路樹の清掃ボランティア活動などの身近な活動も

「みんなで取り組むこと」の一つだと思うので、市民も一緒に取り組むという姿勢が伝わるタイトルが良い。

委：

「計画パート」については、「みんなの」「皆さんの」という言葉では当事者意識が芽生えず、訴求力に欠けるので、「私たちが目指す〇〇」といった言葉遣いも考えられる。

委：

パートのタイトルは、シンプルな方が伝わりやすい。前半は「京都のみどり」あるいは「京都のみどりとは」のような問いかけにし、後半を「みどりの計画」「みどりをつなぐ計画」のように、役割が分かる表現にするのが良い。

事：

パートのタイトルに関する指摘については、より良い表現を検討したい。

委：

京都で学ぶ留学生には、京都のみどりや景観政策について、モデルとして学んで帰りたいという方も多いので、英語表記についても検討いただきたい。

事：

キーワードについて英語を併記し、本文も必要があれば翻訳できるようにするなど、対応を検討する。

議題：1章「理念」

委：

理念の説明文について、一文中の言葉が多く、主語も分かりづらいので、なかなか頭に入って来ない。

委：

「空間」という単語について、専門的には使うことが望ましい単語ではあるが、市民目線ではピンと来ない可能性もあるため、分かりやすさへの配慮をお願いする。

議題：2章「みどりの魅力」

委：

【庭園】のページに「豊かな自然と調和した」という表現を加えること、また、【坪庭】のページに京都の蒸し暑い夏を乗り切るための機能があることを紹介することを提案する。

委：

非常に読みやすい文章で、読むのが苦にならないと感じた。「無鄰菴^{むりんあん}」等、知らないと読めない単語にはふりがなを振る方が良い。

委：

基本は今の方向性で良い。文章の構成パターンについて、体言止めと動詞止めが混在している点等、章全体を通じて整理できると良い。

議題：3章「みどりの展望」

委：

【平面図4 みどりとひとの輪】について、「Park-UP 事業」の説明があると良い。

事：

「Park-UP 事業」だけでなく、「公園愛護協力会」等の京都市の事業についても、リンクや追加の説明を付して対応する。

委：

【平面図4 みどりとひとの輪】に示された各種活動については、具体的な箇所数などのデータを併記することで、活動の広がりや伝わりやすくなるだろう。

イラストについて、実物が提示された後に様々な意見が出る可能性がある。

事：

イラストについては、依頼前やラフ案の段階で委員の皆様を確認いただくなど、丁寧に対応する。

議題：4章「メッセージ」

委：

誰からのメッセージなのかが伝わりづらい。「くらしにみどりを」「みどりとふれあう」までは分かるが、3段階目の「みどりの未来のために」は、どうしたら良いのかがうまく伝わってこない。

委：

今後、市民がみどりを守るために活動をするのが重要になるのは理解できる。内容を視覚的に訴えるため、写真やイラストがあるとより分かりやすいのではないか。

委：

メッセージは短い文章にまとめた方がよい。その中で、御所庭園など古くから続いてきたみどりを、また未来にもつないでいかなければいけないというメッセージも含まれるとよい。

委：

「みどりの未来のために」に示された「京都特有の植物」が具体的にどのようなもので、例えばプランターでも育てられるのかといった実践的な情報が示されると、「やってみたい」と思ってもらえるだろう。

事：

例えば、フタバアオイはプランターでも育てることができる。このような手軽に取り組める具体例を記載できるよう検討する。

委：

「メッセージ」は他の章に比べると異質に感じる。章タイトルの工夫や、説明の追加によって、「暮らしにみどりを」「みどりとふれあう」「みどりの未来のために」それぞれがどういう意味なのかを伝えられるとよい。

4章は、魅力発信パートで京都のみどりの価値や「私たちにできること」を示したうえで、計画パートの具体的な計画という次のステップに移るためのつなぎの章であることを踏まえて執筆してほしい。

議題：5章「計画の概要」

委：

5章からは法定計画としての核心部分となるため、硬い印象にはなってしまうのはやむを得ず、むしろ魅力発信パートとのメリハリも必要である。その中でも分かりやすさを意識してまとめられていると思うので、大きく変える必要はない。

配置方針に関して、輪、縁、軸、拠点の4つでとらえることについて、一般の方にはそれぞれどう違うのかが分かりにくいと思われるため、記載方法に配慮をすべきである。

委：

5章の「みどりの縁^{ふち}」の「縁」という漢字は読み方が分かりにくいため、ふりがなを振るとよい。

委：

配置方針に関して、みどりのつながりが大事であることは説明を受ければ理解できるが、輪や縁、軸といった単語は難しく感じた。

事：

そもそもみどりのネットワークがどういったもののかの説明がなく、いきなり京都のネットワークの要素について記載しているため、解説を追加して分かりやすくしたい。

議題：6章「方針・施策の方向性」

委：

方針と施策の方向性についてはこれまでも議論してきた部分であり、特に問題はない。

議題：7章「各みどりの方向性」

委：

本章は各みどりについてどのような施策を進めていくのかを記載する章となるが、各みどりに関する説明と混在しているため、整理が必要である。

(以上)